

ART

【今月のアート】

ART

現代アートに「和」の要素を取り込み
ダイナミックな色合いと繊細なラインを融合

「画家である母親の影響を強く受け、「20世紀バレエ団」などの舞台美術を手がけてきた前衛作家、パトリック・ジェロラ。1983年に生活と活動の場所を求めて来日して以来、つくば科学万博フランスパビリオンの装飾に携わったり、現在行われている愛・地球博のベルギー館に出演をしたりと、ベルギーをはじめとするヨーロッパと、日本の文化交流に積極的に携わっている。そんな彼の作品が、

間近で見られるのが今回の展覧会だ。「自然界に存在する自然固有の色は、人間を活気付ける薬の役割を果たす」と語る通り、土や石など自然由来の素材を利用して、自ら創色した作品は、限りない力強さとやさしさを感じさせるものが多い。とくに近年のフレスコ画法による風景画は、その独特な色彩とリズム感のあるラインで、自然の息吹、そして光と音があふれ

出すような官能的な世界へと薄いてくれるようだ。「感じたことを描いていく」作品群は東洋人が見れば西洋を、西洋人がみれば東洋を思わせるような不思議なオーラを発している。彼自身が演出する展示空間の中で、新しい美意識を感じてみたい。



○パトリック・ジェロラ「鎌倉」Kamakura 2000年 97×146cm ©Patrick Gerola

東洋と西洋を共有するベルギー前衛作家
「パトリック・ジェロラ」展
色彩が光と音を奏でる世界

開催中～7月3日(日)
メルシャン軽井沢美術館

〒北佐久郡御代田町馬瀬口1799-1
開館9時30分～17時 休火曜 ※5/3は開館
■一般800円、大600円、高中500円、小学300円
TEL 0267-32-0288
HP <http://www.mercian.co.jp/musee>



○パトリック・ジェロラ「ジャポニダ」Japonida
2001年 フレスコ/カンヴァス 直径120cm
©Patrick Gerola

